



コツコツ とことん

うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

大仙市立太田中学校
令和4年8月26日
NO. 59



全力を尽くして

大曲仙北中学校駅伝競走大会

一昨年は中止、昨年は前年以上の新型コロナウイルス感染拡大により田沢湖畔を走ることは叶わず、場所を秋田市雄和の県営陸上競技場に移し、感染防止対策を講じ、無観客、襁渡し無しのタイムレースとして、なんとか大会の開催に至りました。とても残念な2年間でしたが、今年は田沢湖で走ることを願ってきた子どもたちの願いが叶い、3年ぶりに田沢湖畔での開催となった大曲仙北中学校駅伝競走大会。勝負の前に、まずはそのことに感謝し、喜びたいと思います。



激励会では「自分にコントロールできないことは一切考えない。考えても仕方ないことだから。自分にできることだけに集中するのです。君たちが集中するのは、ただひたすらに走ること、自分の、自分たちの目標に向かって全力で走ることです。」と、元ヤンキース松井秀喜さんの言葉を引用して話をしました。大会では自分の成すべきことに集中し、ベストを尽くし、自分と必死に戦っていた太中選手団の姿、積極的な走りを目にしました。No. 58でお知らせした選手の決意の言葉は十分達成したと思います。そんな選手たちに大きな拍手を送りたいと思います。結果は・・・

男子20チーム中13位（16校中11位）

女子19チーム中6位（16校中6位）



と自分たちが思い描いていた順位には届かず、悔しい思いをしたかもしれません。でも、それまでのがんばりは、自分の体力・気力・忍耐力、苦楽をともにした仲間との絆、母校のためにとの思いなど多くの財産になったはずです。そして何より、自分自身の苦し

さに負けない強さ“克己”につながっているはずです。苦しい中でも全力で練習に励んできたその姿は太田Prideの一つ『文武に全力』を体現した姿に他なりません。

サッカー大迫勇也選手の

“悔しい思いの後は頑張れる”

前智弁和歌山高校野球部監督 高嶋仁氏の

“人間って悔しさ覚えたら強いんですよ”

の言葉の通り、悔しさを次の喜びへのバネとしてほしいと思っています。



女子は県大会出場権を獲得しました。また一つ成長できる、強くなるチャンスを得ました。県大会まで、悔しさをバネに喜びを自信にして、さらに自分に厳しく、自分を鍛え、個人の力、チーム力を高め、出場してほしいと思います。



駅伝部の全力に加え、駅伝部の帰校を出迎え、体育館で慰労し、エールを送ってくれた生徒の、仲間を思い称える気持ちと行動も、この日のうれしさを倍増させてくれる出来事でした。『仲間を応援』も太田Prideの体現です。言葉では簡単に表現できませんが、本当にいい1日となりました。

